

東京災害ボランティアネットワーク

2018年度総会議案書

日時:2018年7月8日(日) 15:00~16:15

場所:東京YMCA東陽町センター会議室
(江東区東陽町2-2-20 東京YMCA東陽町センター)

議案提案・審議内容

■2017年度活動報告	P02
■2017年度会計報告	P13
■2018年度活動計画(案)	P14
■2018年度予算(案)	P18
■2018年度役員体制(案)	P19
■2018年度運営委員体制(案)	P19

<首都圏大災害に向けた具体的な対応策の検討>

今後30年間に70%の確率で発生するといわれている首都直下地震をはじめ、首都圏での大災害を想定した被災者支援活動の具体的な対応策について、「東京都災害ボランティアセンター アクションプラン推進会議」の幹事団体として、またこれまで被災者支援活動を実践してきたネットワークとして、関係の各団体と連携しながら検討をしてきました。

東京都災害ボランティアセンター アクションプラン推進会議での取り組み

2014年7月に設立した東京都災害ボランティアセンター アクションプラン推進会議の幹事団体として、アクションプランの推進に積極的に関わっていきました。

<アクションプランにもとづく取り組み>

①被災者支援・ネットワーク調整事業、②災害VC設置・運営支援事業、③被災情報・支援情報の収集と発信事業、④人材育成事業と、アクションプラン通り4つのカテゴリで取り組みを進めていきます。全ての事業において、アクションプラン推進会議の幹事団体(それぞれのネットワーク参加団体含む)や全体会参加団体、または地域の市区町村社協や関係のあるNPO・NGO団体と協働で実施することで、アクションプランが見据える災害時の被災者支援につながる関係づくりを進めていきました。

◇アクションプランにもとづく主な取り組み

①被災者支援・ネットワーク調整事業

◆NPO・NGO担当ブロック制:都内5つの地区でNPO・NGOと社協ブロックが情報交換できる場を設けた。

<実施地区>:中央ブロック(中央区、千代田区、港区、新宿区)、城東ブロック(江東区、江戸川区、葛飾区、墨田区、足立区)、城北ブロック(荒川区、北区、台東区、文京区)、城南ブロック(渋谷区、目黒区、世田谷区、品川区、大田区)、城西ブロック(板橋区、豊島区、練馬区、中野区、杉並区)、北西ブロック(立川市、国分寺市、国立市、東大和市、武蔵村山市、昭島市)、北北ブロック(武蔵野市、西東京市、小平市、東久留米市、武蔵村山市、清瀬市)、北南ブロック(小金井市、府中市、調布市、三鷹市、狛江市)、南多摩ブロック(町田市、稲城市、多摩市、日野市、八王子市)

◆東京都が実施した災害対策本部訓練への参加

東京都総務局総合防災部による災害対策本部訓練(図上訓練)が2018年1月11日に開催された。

②災害VC設置・運営支援事業

◆「災害ボランティアセンター設置・運営のヒント」の普及をおこないました。

◆被災者支援プログラムの共有と普及のため、被災者支援プログラム集作成ワーキング・グループを設置し、作成の検討を行った。計3回のワーキング・グループを実施しました。

③被災情報・支援情報の収集と発信事業

◆2014年度に作成した小冊子「災害ボランティアセンターにおける広報ガイドライン」の普及をおこないました。

④人材育成事業

◆講座や訓練と通したブロック内外の団体連携

:講座を協働形式で実施。4つのブロック(城北ブロック(荒川区、北区、台東区、文京区)、北北ブロック(武蔵野市、西東京市、小平市、東久留米市、武蔵村山市、清瀬市)、北南ブロック(小金井市、府中市、調布市、三鷹市、狛江市)、南多摩ブロック(町田市、稲城市、

多摩市、日野市、八王子市))らの講師依頼をアクションプラン推進会議参加団体につなぐことで連携を深めた。

- ◆東京都災害VC訓練の実施:2017年9月3日東京都・調布市合同総合防災訓練で実施
- ◆首都直下地震時の災害ボランティア活動連携訓練の実施
日時:2018年3月14日 場所:飯田橋レインボービル
参加:プレイヤー77名、見学者59名
※なお、この連携訓練を実施するにあたり、ワーキンググループを設置し、訓練の企画・運営をおこなった。ワーキンググループの会義は2017年10月から計9回実施。
- ◆勉強会の実施
2017年05月25日 災害救助法について
2017年07月20日 九州北部豪雨についての情報交換
2017年11月30日 避難所ですぐに使える食中毒予防ガイドブックについて
2018年01月25日 東京災害ボランティアネットワークの取組みについて

<アクションプラン推進会議 全体会/幹事会の開催>

アクションプランを推進するにあたり、事業推進のための情報収集、事業の推進状況の共有等を図るため、アクションプランに賛同する団体/協力いただいている団体を対象とした全体会を、アクションプラン推進会議幹事団体を対象とした幹事会を開催しました。

- ◇全体会の開催: 第一回:2017.05.25 2016年度活動報告/2017年度活動計画について等
第二回:2017.07.20 東京都・調布市合同総合防災訓練について等
第三回:2017.11.30 第二期アクションプランの策定に向けた検討等
第四回:2017.01.25 2017年度アクションプランの進捗について等

- ◇幹事会の開催: 第一回:2017.04.27 2016年度活動報告/2017年度活動計画について等
第二回:2017.06.22 被災者支援プログラム集作成、アンケート調査について等
第三回:2017.08.03 東京都・調布市合同総合防災訓練について等
第四回:2017.10.05 東京都・調布市合同総合防災訓練報告、連携訓練について等
第五回:2017.12.21 連携訓練について等
第六回:2018.03.14 連携訓練振り返り、来年度の活動について等

<その他の取り組み>

- ◇東京都災害ボランティアセンターの具体的な役割・機能の検討
- ◇第二期アクションプラン(5か年中期実行計画)の策定に向けた検討
- ◇アクションプラン推進会議の運営体制の検討

<アクションプラン推進会議の概要>

名称 : 東京都災害ボランティアセンター アクションプラン推進会議
事務局 : 東京ボランティア・市民活動センター
幹事団体(7団体)

: 国際協力NGOセンター(JANIC)/ジャパン・プラットフォーム(JPF)/東京災害ボランティアネットワーク/東京都社会福祉協議会区市町村社会福祉協議会部会/東京都生活協同組合連合会/東京ボランティア・市民活動センター(TVAC)=事務局/日本青年会議所関東地区東京ブロック協議会 (50音順)

参加団体(参加実績のある団体:18団体)

: AAR Japan、ADRA Japan、シャプラニール＝市民による海外協力の会、シャンティ国際ボランティア会、JUON(樹恩) NETWORK、東京 YMCA、難民支援協会、ピースボート災害ボランティアセンター、IVUSA、グッドネーバーズ・ジャパン、ケア・インターナショナルジャパン、災害復興まちづくり支援機構、真如苑救援ボランティアグループ(SeRV)、NICE、減災と男女共同参画研修推進センター、末日聖徒イエス・キリスト教会、東京都国際交流委員会、JEN

<アクションプラン推進会議設置の背景と目的>

2013年2月～2014年3月に実施された「東京都災害ボランティアセンター(仮称)の運営等に関する検討委員会」(以下、検討委員会)は、平時から取り組むべき事項を盛り込んだ五か年の中期実行計画「アクションプラン」をまとめ、同時にプランを推進する「アクションプラン推進会議」(以下、推進会議)を設置し、多様な団体が共に取り組みを進めていくことを提案しました。

検討委員会の提案を受け、区市町村ボランティアセンターや災害ボランティア・NPO/NGO等が災害時に円滑に支援活動を行うことができる環境をあらかじめ整える目的のもと、東京ボランティア・市民活動センターが事務局を担い、検討委員会に参画していた都内のネットワーク団体が幹事団体となり、推進会議が設置されました。

推進会議は、アクションプランを具体化した取り組みを実施すると同時に、検討委員会で残った課題である協議体(団体)の立ち上げや、東京都災害ボランティアセンターのマニュアルの見直し等も検討することになっています。

全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)での取り組み

東日本大震災を受けて、今後の広域災害時を想定したボランティア・NPO/NGO等の調整機関を全国域で設立する準備が進み、2016年11月、正式にNPO法人として設立しました。東災ボは都域のネットワークですが、全国域の取り組みと連動した防災・減災の取り組みを意識するため、JVOAD準備会に参画し、法人設立と同時に運営委員団体として各種取り組みを実施しました。

<全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD) 運営委員会>

2016年11月に設立登記を完了し、NPO法人としてスタートしたJVOADは、毎月運営委員会を実施しています。

2017年04月26日 全国フォーラム(2017/5/26-27)について/都道府県との関係について等
2017年05月17日 全国フォーラム(2017/5/26-27)について/理事会・総会について等
2017年06月28日 専門委員会・勉強会について/防災国民大会について等
2017年07月26日 専門委員会規約について/ボランティアバスについて/九州北部豪雨について等
2017年08月23日 専門委員会設置について/九州豪雨水害支援活動継続について等
2017年09月27日 九州北部豪雨水害支援活動について/復興学会との勉強会について等
2017年10月24日 九州北部豪雨水害支援活動について/臨時理事会開催について等
2017年11月28日 九州北部豪雨水害支援活動について/JVOAD中長期事業計画策定会議について等
2017年12月26日 JVOAD中長期事業計画策定会議について/全国フォーラムについて等
2018年01月23日 JVOAD中長期事業計画策定会議について/全国フォーラムについて等
2018年02月27日 全国フォーラム(2018/6/12-13)について/中長期計画策定会議について等
2018年03月27日 全国フォーラム(2018/6/12-13)について/2017年度活動報告について等

<災害時の連携を考える全国フォーラムの開催>

タイトル	災害時の連携を考える全国フォーラム ～多様な担い手が集う場～
日時	2017年5月26-27日
場所	国際ファッションセンター3階 KFCホール
主催	特定非営利活動法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク
共催	災害ボランティア活動支援プロジェクト会議
後援	内閣府政策統括官(防災担当)、復興庁、総務省消防庁、厚生労働省、国土交通省、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、東京都、熊本県、日本財団、日本労働組合総連合会、阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター、1%(ワンパーセント)クラブ、日本災害復興学会
協賛	セコム株式会社、富士フィルム ビジネスサプライ株式会社
内容	初日「過去の災害の教訓と、今の連携を学ぶ」をテーマに、全体会と5つの分科会で構成 二日目「連携について、今後の課題解決を考える」をテーマに、全体会と5つの分科会で構成
参加者	506名

<全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)団体概要>

名称	特定非営利活動法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(略称: JVOAD)
設立日	2016年11月1日
役員	代表理事 栗田暢之(震災がつなぐ全国ネットワーク) 理事 大橋正明(国際協力 NGO センター)、鎌田長明(日本青年会議所)、萩原なつ子(日本 NPO センター)、高橋良太(全国社会福祉協議会)、二村睦子(日本生活協同組合連合会)、阪本真由美(兵庫県立大学大学院)、明城徹也(JVOAD事務局) 監事 大城聡(弁護士)、鶴町昌司(税理士)
正会員団体	23団体(五十音順) カリタスジャパン/救世軍/クロスオーバーラボ/国際協力NGOセンター/ジャパン・プラットフォーム/情報支援レスキュー隊/震災がつなぐ全国ネットワーク/真如苑救援ボランティア/全国社会福祉協議会/チーム中越/中央共同募金会/東京災害ボランティアネットワーク/難民を助ける会/日本NPOセンター/日本生活協同組合連合会/日本青年会議所/日本赤十字社/日本YMCA同盟/パーソナルサポートセンター/ピースポート災害ボランティアセンター/東日本大震災支援全国ネットワーク/福祉防災コミュニティ協会/レスキューストックヤード
設立パートナー(設立支援)	武田薬品工業株式会社
プログラム・パートナー(活動助成)	act alliance、中央共同募金会

その他

<第13回静岡県内外の災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練への参画>

静岡県ボランティア協会が中心となり、県や県社会福祉協議会はもとより、県内市町の社会福祉協議会や災害ボランティア団体、また企業や労働団体等と連携して13年前から取り組んでいる訓練に、企画作成ワーキンググループの一員として参画しました。

名称	第13回静岡県内外の災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練
日時	2018年1月20日～21日
場所	ツインメッセ静岡(西館) 第2小展示場、他
主催	特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会

共催：静岡県、社会福祉法人静岡県社会福祉協議会・市町社会福祉協議会
協力：一般社団法人静岡県労働者福祉協議会、公益財団法人静岡県労働者福祉基金協会、
連合静岡、静岡県労働金庫
実施主体：特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会、第13回図上訓練ワーキンググループ
助成：日本財団
内容：ワークショップ型訓練
参加：313名

※訓練前に企画運営のためのワーキンググループ会議（静岡県内外で25名）が、実施主体となっている「東海地震等に備えた災害ボランティアネットワーク委員会」内に設置され、計6回の会義を経て実施されています

第一回2017.07.25 第二回2017.08.17 第三回2017.09.26
第四回2017.10.23 第五回2017.12.20 第六回2018.01.09
第七回2018.03.19(振り返り)

2017年度の東京災害ボランティアネットワークは、＜首都圏大災害に向けた具体的な対応策の検討＞を、主にアクションプラン推進会議の幹事団体として取り組んできました。また、2016年秋に設立されたJVOADも、被災地での活動だけでなく、平時の活動も本格化し、東京災害ボランティアネットワークは運営委員団体としてその活動に参画しています。

<アクションプラン推進会議>

- 東京都と「災害ボランティア活動支援に関する協定」を結んでいる東京ボランティア・市民活動センターが中心になることで、都行政との連携を検討できる会議体となっています
- 一方で、その機能や役割については、まだ議論が必要で、災害後に設置される東京都災害ボランティアセンターとの関係についても整理が必要となっています。また、東京災害ボランティアネットワークの機能・役割との整理も必要といえます
- 東京都災害ボランティアセンターアクションプラン推進会議の設置から4年が経ち、今期(2014-2018)のアクションプランの評価と、次期アクションプラン(2019-2023)策定の動きも出てきています

<全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)>

- 熊本地震や九州北部豪雨水害等での被災地での活動はもちろんのこと、平時の活動についても、全国フォーラムの開催、中長期事業計画の策定など、具体的な活動も本格化してきています
- 一方で、JVOADは全国ネットワークということもあり、東京のネットワークである東京災害ボランティアネットワークとの関係性を考えていく必要があります。

想定されている首都直下地震をはじめとした大規模災害に備えるためには、多様な団体との連携、および行政機関との連携は必要不可欠と考えています。東京都災害ボランティアセンターアクションプラン推進会議やJVOADの中で、東京災害ボランティアネットワークのこれまでの経験と、関係性は活かされています。

＜地域や組織・団体の防災力向上に向けた取り組み＞

例年と同様に、地域や組織・団体の防災力向上に向けた取り組みとして、講師派遣やプログラム提供を実施してきました。2017年度は、前述の東京都災害ボランティアセンターアクションプラン推進会議の人材育成と連動した形で、複数の団体の取り組みを協働で実施できるように工夫をしました。

講師・プログラム派遣、委員派遣、委託事業等

＜講師派遣・プログラム提供等＞

2017.06.08	千葉県男女共同参画センター研修会(HUG研修)
2017.07.04	パルシステム東京 地域交流会
2017.07.19	タケダ・赤い羽根 広域避難者支援プログラム研修会
2017.09.02	東京YMCA 防災学習会「防災のまち歩き」
2017.09.04	千葉県高校生等防災教育基礎講座「県立銚子商業高校」
2017.10.10	JCNサロン
2017.09.02	千葉県高校生等防災教育基礎講座「関宿高校」
2017.10.15	西東京VC災害ボランティア養成講座「災害時要配慮者の課題を考える」
2017.11.10	TVAC市民活動ゼミ
2017.02.01	中央ろうきん友の会 研修会
2018.03.17	板橋区宮元町会「防災講座」
2018.03.25	西東京ボランティア・市民活動センター「施設連絡会研修会」

＜委員派遣等＞

東日本大震災支援全国ネットワーク	代表世話人	山崎
東京都共同募金会配分委員会	委員派遣	上原
東京都生活協同組合連合会	理事派遣	福田
静岡県ボランティア協会「第13回図上訓練」ワーキンググループ	委員派遣	福田
全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)運営委員会	委員派遣	福田

＜委託事業等＞

組織・団体といった「集団として」の防災力向上に向け、市民講座や研修などを開催しました。

◇東京ボランティア・市民活動センターの各種事業への協力

東京ボランティア・市民活動センターの各種事業には、資料提供、プログラム提供等を実施させていただき、アクションプラン推進会議はもとより都内市区VCの講座・研修で役立てていただいています。

◇COOP災害ボランティア養成講座への協力

- 2017年10月14日 第一回 地域町会との意見交換シンポ
- 2017年10月28日 第二回 防災まち歩き
- 2017年12月09日 第三回 普通救命講習
- 2018年01月27日 第四回 ワークショップ(プラスワン)
- 2018年03月03日 広域避難者を知る勉強会(スキルアップ講座)

1. 17イベントの開催

毎年1月17日前後に全国的に開催されている「1.17灯りのつどい」。東京災害ボランティアネットワークでは、2000年から取り組み続けているイベントですが、多くの団体とともに連携・協働するイベントとして定着しています。

<いま、わたしたちに、できること。2017 KOBE MEMORIAL 1.17灯りのつどい>

日 時:2018年1月13日(土) 16時00分～18時00分

場 所:東京国際フォーラム地上広場

内 容:シンポジウム/灯りのつどい/展示/防災クイズ/煙体験ハウス/炊き出し/スクリーン映像

参加者:400名

主 催:東京災害ボランティアネットワーク

共 催:(株)東京国際フォーラム/東京ボランティア・市民活動センター

東日本大震災後、数多くの団体が、防災・減災をテーマにした活動に取り組み始め、これまで海外支援を活動の中心に置いていたNGOの方々や社会福祉協議会(ボランティアセンター)が、市民防災や地域防災に関わりはじめています。

その動きは一過性ではなく、恒常的なものになりつつあることを踏まえ、市民や地域と、それらの団体のつながりを強化していくことが重要であると認識しています。

東京災害ボランティアネットワークは、これまでの関係性を活かしながら、NGOや社会福祉協議会(ボランティアセンター)と市民防災/地域防災、テーマ型団体とエリア型団体がつながりを持てるような取り組みを実施してきましたが、2017年度は町会/自治会や障害当事者との取り組みをより強くしながらの取り組みとなりました。

＜被災者支援活動(交流活動)の取り組み＞

東日本大震災被災者支援活動については、2015年度と同様に、2011～2013年まで東災ボが現地に事務局を置いて支援してきた宮城県南三陸町・登米市の仮設住宅、および地域の方々との交流活動を2016年度に一区切りをつけ、2017年度は、都内に避難してきている広域避難者支援活動を軸として取り組みを実施してきました。

また、2013年10月に発災した伊豆大島との復興支援活動(交流活動)や、2005年から12年間続けている三宅島との交流活動に取り組みました。特に、三宅島との交流活動については、これまで「みやげじまく風の家」の代表をつとめ、中心的な役割を担っていただいていた坂上さんの諸事情による離島に伴い、現地での体制の再構築を求められました。

東日本大震災被災者支援活動

これまでの支援活動で縁を持ち続けている仮設住宅が全て解消し、2016年度で現地での交流活動は一区切りをしましたが、東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)の世話団体として、被災地の方々との交流活動は続けています。

＜東日本大震災支援全国ネットワークへの参画＞

東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)の世話人団体の一つとして、JCNの取り組みに参画、および参加・協力しました。特に広域避難者支援活動においては、都内での取り組みに対し、広域避難者支援連絡会in東京として積極的に参画しました。

◇世話人団体定例会 :2ヶ月に一度開催

◇広域避難者支援活動 :避難者支援の総合窓口・コーディネート/避難者支援の場づくり 等

広域避難者支援活動(広域避難者支援連絡会in東京での取り組み)

広域避難者の課題は、東日本大震災から7年を経過した今、非常に個別化(家庭事情等)し見えにくく、深刻化(健康面への影響等)し、ボランティア活動だけでは支援しにくくなってきているといえます。特に、都内各地で活動していた当事者グループのいくつかが2017年度で活動を終える動きもあります。そんな中、東京災害ボランティアネットワークは、「広域避難者支援連絡会in東京」の一員として、広域避難によってつながりが切れてしまった当事者の方々のつながりを再構築すると同時に、支援団体の方々と新たなつながりを構築できる場づくりを中心とした支援活動を実施してきました。

＜定例会議の開催＞

連絡会参加団体や関係団体が情報交換する場として、また連絡会企画の検討をする場として、2016年度は2017年4月から2018年3月まで、毎月の定例会議を開催しました。

- 第01回定例会 2017.04.13 2016年度事業・決算報告、/2017年度事業計画について 等
- 第02回定例会 2017.05.11 2016年度事業・決算報告、/2017年度事業計画について 等
- 第03回定例会 2017.06.08 総会を兼ねて実施
- 第04回定例会 2017.07.13 当事者団体との協働事業進捗、MTG in 関東について 等
- 第05回定例会 2017.08.10 当事者団体との協働事業進捗、MTG in 関東について 等
- 第06回定例会 2017.09.14 当事者団体との協働事業進捗、MTG in 関東について 等
- 第07回定例会 2017.10.12 ふれあいFES報告、MTG in 関東について 等
- 第08回定例会 2017.11.09 MTG in 関東について、クローズドMTGについて等

- 第09回定例会 2017.12.14 MTG in 関東開催報告、クローズドMTGについて 等
 第10回定例会 2018.01.11 第16回MTG in 東京について 等
 第11回定例会 2018.02.08 第16回MTG in 東京について、福島視察ツアーについて 等
 第12回定例会 2018.03.20 第16回MTG in 東京開催報告、福島視察ツアー開催報告 等

(※)広域避難者支援連絡会は、2013年1月の準備会を経て、2013年4月に発足していますが、組織的な体制を持たずに活動してきましたが、2014年6月に組織体制を確立しました。

<総会の開催>

日時:2017年06月08日 10:00~10:30
 場所:東京ボランティア・市民活動センター会議室
 議題:2016年度事業報告/2016年度決算報告
 2017年度事業計画/2017年度予算計画/2017年度役員選任に関する事項

<広域避難者支援ミーティングin東京の開催>

広域避難者支援活動を実施している団体や避難当事者団体の交流・連携を促すための情報交換の場、様々な支援手法・アイデアを共有し支援の充実を図る場として、広域避難者支援ミーティングin東京(MTGin東京(※))や関東の当事者グループを対象とした広域避難者支援ミーティング in 関東を開催しました。

- ◇MTG in 関東 日時:2017年11月29日(水) 場所:YWCA会館カフマンホール
 内容:(クローズド)当事者団体からの話題提供/グループディスカッション
 参加:36団体57名
 ※MTG in 関東は、当事者団体を中心としたクローズド会議として実施
- ◇第16回MTGin東京 日時:2018年3月8日(金) 場所:全水道会館
 内容:広域避難者支援ミーティング in 関東の報告/情報交換・意見交換
 参加:49名
- ◇クローズドMTG 2017年11月15日 成増団地(コスモス会)/2017年12月21日 町田市民フォーラム(東北の絆サロンFMI会)/2018年1月26日 町屋都営住宅第二集会所(町屋ミニサロン)/2018年2月6日 田無神社(みちのくまほろば会)

(※)第1回MTGin東京は2013年3月に、第2~4回のMTGin東京は2013年度に、第5~8回のMTGin東京は2014年度に、第9~12回のMTGin東京は2015年度に、第13~15回のMTGin東京は2016年度に開催しています。

<当事者団体との協働事業の実施>

避難当事者団体同士のネットワーク作りをさらに進めるため、この間連携している都内にある当事者団体と協働して具体的な交流プログラムを実施しました。なお、これらの事業は、当事者団体と連絡会で実行委員会を設置し、連絡会が実行委員会事務局を担いました。

- ◇避難者と支援者による「ふれあいフェスティバル」
 日時:2017年10月1日(日) 10:30~15:30
 場所:都立篠崎公園
 内容:都内の当事者団体同士の交流
 参加:554名(避難者:236名 支援者:318名) ※受付で確認できた方のみ

○実行委員会の開催

第1回4/4、第2回5/10、第3回6/7、第4回6/30、第5回7/11、第6回7/25、
第7回8/23、第8回9/6、第9回9/20、第10回10/18

- ◇ 2017年度は、埼玉県や神奈川県、千葉県、山梨県の支援団体に声掛けを行い、関東圏でのつながりを強化しました。
- ◇ 広域で交流することで普段出会うことの少ない同郷の避難者と交流する機会となった。また、既に参加した避難者にとって広域交流会の開催が定着してきています。
- ◇ 広域交流会を実施する上で、交流会開催地域(江戸川区や近隣区)の様々な団体に資機材の提供を含めさまざまな支援を頂くことができ、それを通して広域避難者の問題をより多くの関係者に身近に感じて頂くきっかけとなりました。
- ◇ 実行委員会を設置し、広域避難者支援連絡会 in 東京も委員として参加するとともに事務局を担った。実行委員会を重ねることで、当事者団体のネットワークを深める場となりました。

<情報収集と発信>

メールマガジンの配信やホームページでの情報発信を実施しました。

※広域避難者支援連絡会in東京ホームページ <http://kouikihinan-tokyo.jimdo.com/>

※広域避難者支援連絡会in東京(14団体)

(構成団体)荒川区社会福祉協議会／いたばし総合ボランティアセンター／AAR Japan[難民を助ける会]
／こどもプロジェクト/金光教首都圏災害ボランティア支援機構／災害復興まちづくり支援機構／全労
済(全国労働者共済生活協同組合連合会)／中央労働金庫／東京足湯プロジェクト／東京災害ボ
ランティアネットワーク／東京都生活協同組合連合会／東京ボランティア・市民活動センター／東京
労働者福祉協議会／連合東京 (50音順)

伊豆大島復興支援活動(大島復興交流プログラムの実施)

伊豆大島支援活動は、東京都災害ボランティアセンターの一員として2013年から東災ボも活動を実施してきました。2014年11月からは、「大島復興支援東京ボランティアセンター」の構成団体として、大島社会福祉協議会をはじめとする島民の方々や関係団体と共に復興交流プログラムを実施し、2017年度も10月に開催予定としていましたが、開催前々日に台風接近に伴う海上不良が確実となってしまったことにより急きょ中止とさせていただきます。

<大島復興交流プログラム>

日時:2017年10月27日(金)～10月29日(日) 二泊三日(船中泊一泊含む)

場所:伊豆大島(福祉祭り会場、および被災地域等)

内容:初 日:福祉祭り(大島社協主催)のお手伝い/島民との交流

二日目:町役場職員から復興に向けた町役場の取り組み説明/被災地域の散策(島民による語り部)等
⇒台風接近に伴う海上不良のため中止。

みやげじま<風の家>を通じた三宅島交流活動

2005年の年末から始まったこの「三宅島年末お掃除ボランティア活動」も2017年で13回目となりました。2005年2月から8月まで約半年間におよんだ帰島支援ボランティア活動。多くのボランティアの方々に参加していただき、支援する者と支援される者の壁を超えた交流を持つことができました。2005年10月に、復興支援として、島民の加齢と島の高齢化課題に取り組む試みとして島民自身が運営している「みやげじま<風

の家>」とともに、もちつき会や恒例の年末お掃除ボランティア活動等を通じて交流の場を持つことができました。

<みやけじま風の家 交流もちつき会>

日 時: 2017年12月02日(土)
場 所: 三宅島 (みやけじま<風の家>内)
内 容: 餅つき会 等
参 加: 7名(東京からの参加者のみ)
主 催: みやけじま<風の家>

<三宅島年末お掃除ボランティア>

日 時: 2017年12月15日(金)~12月17日(日):21名
2017年12月22日(金)~12月24日(日):16名
場 所: 三宅島
内 容: お掃除ボランティア/島民ボランティアによる島内一周視察
参 加: 37名(東京からのボランティア参加者のみ)
主 催: みやけじま<風の家>/東京災害ボランティアネットワーク

<情報発信>

これまで滞っていた東災ボTIMESの定期発行を目指していましたが、常駐の事務局員が1人となり、2017年度は発行することができませんでした。

<組織体制の強化>

事務局の体制が変わって3年目となった2017年度、毎月の実施予定であった事務局会議は開催できませんでしたが、役員会や運営委員会は開催できませんでした。